

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年1月11日
【四半期会計期間】	第66期第2四半期（自平成24年9月1日至平成24年11月30日）
【会社名】	カネコ種苗株式会社
【英訳名】	KANEKO SEEDS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 金子 昌彦
【本店の所在の場所】	群馬県前橋市古市町一丁目50番地12
【電話番号】	027(251)1619
【事務連絡者氏名】	専務取締役財務部長 長谷 浩克
【最寄りの連絡場所】	群馬県前橋市古市町一丁目50番地12
【電話番号】	027(251)1619
【事務連絡者氏名】	専務取締役財務部長 長谷 浩克
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第65期 第2四半期連結 累計期間	第66期 第2四半期連結 累計期間	第65期
会計期間	自平成23年 6月1日 至平成23年 11月30日	自平成24年 6月1日 至平成24年 11月30日	自平成23年 6月1日 至平成24年 5月31日
売上高(千円)	22,152,545	23,280,670	51,406,205
経常利益(千円)	326,105	233,831	1,610,884
四半期(当期)純利益(千円)	170,800	138,839	863,993
四半期包括利益又は包括利益(千円)	155,822	197,138	818,184
純資産額(千円)	11,777,640	12,372,116	12,315,898
総資産額(千円)	28,812,401	29,063,875	37,233,782
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	14.65	11.82	74.01
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	40.6	42.6	33.1
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	1,395,241	809,085	674,100
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	100,637	120,138	121,833
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	1,865,798	1,413,607	404,491
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	2,136,187	2,398,427	1,914,043

回次	第65期 第2四半期連結 会計期間	第66期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 9月1日 至平成23年 11月30日	自平成24年 9月1日 至平成24年 11月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	1.79	2.71

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

当社は連結子会社でありました株式会社ベルデ九州を平成24年6月1日付けで吸収合併したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興に伴う特需のプラス要因があるものの、世界経済の減速を背景として弱含む輸出の影響から、企業収益は製造業を中心に減速傾向となったことなどによる設備投資の抑制、依然として厳しい雇用情勢等、いまだ明るさは見えない状況が続いております。

また、国内農業の状況は、原発事故による風評被害から脱却できず、加えて青果安などが農家経営を圧迫しております。

こうしたなか、当社グループの業績は、売上高232億80百万円で前年同四半期比11億28百万円（5.1%）増となりましたが、利益面では営業利益1億99百万円で前年同四半期比1億3百万円（34.3%）減、経常利益2億33百万円で前年同四半期比92百万円（28.3%）減、四半期純利益1億38百万円で前年同四半期比31百万円（18.7%）減となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(種苗事業)

種苗事業においては、タマネギ種子が天候不順などにより生産が不調となったことから販売数量が確保できず売上減となったものの、永年性牧草地の更新需要に伴い牧草種子の売上が増加したことや、レタス種子が水耕栽培需要等で、また、カボチャ種子が産地評価を高めたことにより伸長し、売上高30億89百万円で前年同四半期比7.5%の増収となりました。

(花き事業)

花き事業においては、営利栽培農家向けトルコギキョウ種苗やスターチスシヌアータ苗が売上増となったものの、家庭園芸用品への需要が低迷したことなどにより、売上高37億35百万円で前年同四半期比4.9%の減収となりました。

(農材事業)

農材事業においては、病害虫の発生が少なかったことや、青果安による農家の防除意欲の低下などから、農薬に対する農家の購買意欲が低迷する厳しい状況となったものの、前期まで連結子会社であった株式会社ベルデ九州を吸収合併したことに伴い、未連結であった同社の平成24年4月～5月の業績数字を今期連結したことなどにより、売上高101億39百万円で前年同四半期比5.1%の増収となりました。しかしながら、需要低迷の影響等から採算性は厳しいものとなりました。

(施設材事業)

施設材事業は、養液栽培システムの完工が当第2四半期連結累計期間は少なかったものの、農材事業同様、株式会社ベルデ九州を吸収合併した上乗せ分が増収要因となったことに加え、顧客ニーズを捉えた営業活動により、売上高61億27百万円で前年同四半期比9.8%の増収となりました。

(造園事業)

売上高1億88百万円で前年同四半期比58.3%の大幅増収となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して4億84百万円増加し、23億98百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、8億9百万円（前年同四半期比42.0%減）となりました。

これは主に、仕入債務の減少額94億51百万円が、売上債権の減少額81億86百万円及びたな卸資産の減少額4億80百万円を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1億20百万円（前年同四半期比19.4%増）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出1億13百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は、14億13百万円（前年同四半期比24.2%減）となりました。

これは主に、営業活動により使用した資金を、短期借入金で調達したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、269,790千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,000,000
計	19,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年11月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年1月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	11,772,626	11,772,626	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	11,772,626	11,772,626	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年9月1日～ 平成24年11月30日	-	11,772,626	-	1,491,267	-	1,751,682

(6) 【大株主の状況】

平成24年11月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社あかぎ興業	群馬県前橋市日吉町2-11-21	591	5.02
株式会社群馬銀行	群馬県前橋市元総社町194	490	4.16
金子 昌弘	群馬県前橋市	469	3.98
金子 才十郎	群馬県前橋市	341	2.89
金子 悦三	群馬県前橋市	341	2.89
株式会社東和銀行	群馬県前橋市本町2-12-6	310	2.64
カネコ種苗従業員持株会	群馬県前橋市古市町1-50-12	292	2.48
金子 教子	群馬県前橋市	185	1.57
群馬ハンディホンサービス株式 会社	群馬県伊勢崎市赤堀今井町1-280-1	182	1.54
カネコ種苗みどり会	群馬県前橋市古市町1-50-12	171	1.45
計	-	3,377	28.68

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 24,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,707,500	117,075	-
単元未満株式	普通株式 40,926	-	-
発行済株式総数	11,772,626	-	-
総株主の議決権	-	117,075	-

【自己株式等】

平成24年11月30日現在

所有者の氏名又は 名称	所有者の住所	自己名義所有株 式数(株)	他人名義所有株 式数(株)	所有株式数の合 計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
カネコ種苗株式会社	群馬県前橋市古市町 1-50-12	24,200	-	24,200	0.20
計	-	24,200	-	24,200	0.20

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
取締役	生産仕入部長	取締役	くにさだ育種 農場長	渋谷 明	平成24年10月1日

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年9月1日から平成24年11月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年6月1日から平成24年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,247,543	2,731,927
受取手形及び売掛金	20,635,198	12,215,196
商品	5,209,188	4,513,452
その他	1,560,778	1,944,555
貸倒引当金	65,547	43,122
流動資産合計	29,587,161	21,362,009
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,144,432	4,144,432
その他(純額)	1,817,845	1,834,411
有形固定資産合計	5,962,278	5,978,844
無形固定資産	113,914	102,606
投資その他の資産		
その他	1,587,343	1,688,733
貸倒引当金	16,915	68,318
投資その他の資産合計	1,570,428	1,620,414
固定資産合計	7,646,621	7,701,865
資産合計	37,233,782	29,063,875
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,827,378	10,600,735
短期借入金	2,085,000	3,645,000
未払法人税等	311,008	91,650
その他	1,336,667	995,573
流動負債合計	23,560,055	15,332,959
固定負債		
退職給付引当金	1,053,139	1,061,079
役員退職慰労引当金	208,880	208,347
その他	95,809	89,372
固定負債合計	1,357,828	1,358,799
負債合計	24,917,883	16,691,758
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,765,206	1,765,206
利益剰余金	9,054,201	9,052,056
自己株式	14,116	14,329
株主資本合計	12,296,559	12,294,201
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	19,339	77,915
その他の包括利益累計額合計	19,339	77,915
純資産合計	12,315,898	12,372,116
負債純資産合計	37,233,782	29,063,875

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
売上高	22,152,545	23,280,670
売上原価	18,612,653	19,651,832
売上総利益	3,539,892	3,628,837
販売費及び一般管理費	3,236,639	3,429,507
営業利益	303,252	199,329
営業外収益		
受取配当金	11,119	20,945
受取家賃	26,786	29,523
その他	6,915	7,207
営業外収益合計	44,821	57,676
営業外費用		
支払利息	18,308	17,400
投資事業組合運用損	1,113	-
為替差損	2,538	5,056
その他	7	718
営業外費用合計	21,968	23,174
経常利益	326,105	233,831
特別利益		
投資有価証券売却益	581	-
特別利益合計	581	-
特別損失		
投資有価証券売却損	2,256	1,377
投資有価証券評価損	5,148	-
固定資産処分損	939	2,089
特別損失合計	8,344	3,466
税金等調整前四半期純利益	318,342	230,365
法人税等	133,428	91,525
少数株主損益調整前四半期純利益	184,913	138,839
少数株主利益	14,112	-
四半期純利益	170,800	138,839

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	184,913	138,839
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	29,090	58,299
その他の包括利益合計	29,090	58,299
四半期包括利益	155,822	197,138
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	141,746	197,138
少数株主に係る四半期包括利益	14,076	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	318,342	230,365
減価償却費	103,593	101,997
売上債権の増減額(は増加)	7,366,587	8,186,628
たな卸資産の増減額(は増加)	828,162	480,678
仕入債務の増減額(は減少)	9,696,848	9,451,190
その他	14,147	75,365
小計	1,066,015	526,886
法人税等の支払額	320,368	283,955
その他	8,858	1,757
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,395,241	809,085
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	135,152	113,695
投資有価証券の売却による収入	7,575	7,238
その他	26,939	13,681
投資活動によるキャッシュ・フロー	100,637	120,138
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	2,010,000	1,560,000
配当金の支払額	138,889	140,361
その他	5,311	6,030
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,865,798	1,413,607
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	369,919	484,383
現金及び現金同等物の期首残高	1,766,267	1,914,043
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,136,187	2,398,427

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当社は連結子会社でありました株式会社ベルデ九州を平成24年6月1日付で吸収合併したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年6月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
従業員給与及び手当	971,271千円	1,009,055千円
従業員賞与	327,567	352,005
退職給付費用	95,906	100,722
役員退職慰労引当金繰入額	6,800	7,200

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
現金及び預金勘定	2,499,687千円	2,731,927千円
預入期間が3か月を超える定期預金	363,500	333,500
現金及び現金同等物	2,136,187	2,398,427

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成23年11月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年8月30日 定時株主総会	普通株式	139,928	12	平成23年5月31日	平成23年8月31日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年1月6日 取締役会	普通株式	104,944	9	平成23年11月30日	平成24年2月16日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年11月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年8月30日 定時株主総会	普通株式	140,984	12	平成24年5月31日	平成24年8月31日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年1月7日 取締役会	普通株式	105,735	9	平成24年11月30日	平成25年2月18日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	造園 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	2,875,202	3,929,411	9,649,171	5,579,583	119,178	22,152,545
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,073	31	642	9,583	-	27,329
計	2,892,275	3,929,442	9,649,813	5,589,166	119,178	22,179,874
セグメント利益又は損失()	384,681	60,904	146,618	216,211	3,574	683,032

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	683,032
全社費用(注)	379,780
四半期連結損益計算書の営業利益	303,252

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	造園 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	3,089,565	3,735,834	10,139,084	6,127,584	188,603	23,280,670
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,400	20	867	4,133	-	16,420
計	3,100,965	3,735,854	10,139,951	6,131,717	188,603	23,297,090
セグメント利益又は損失()	409,146	61,999	28,159	201,107	1,716	578,129

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	578,129
全社費用(注)	378,800
四半期連結損益計算書の営業利益	199,329

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成24年11月30日)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成24年11月30日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成24年11月30日)

当社グループは、デリバティブ取引を全く利用していないため、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成24年9月1日至平成24年11月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額	14円65銭	11円82銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	170,800	138,839
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	170,800	138,839
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,660	11,748

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年1月7日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議しました。

(イ) 配当金の総額 105,735千円

(ロ) 1株当たりの金額 9円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成25年2月18日

(注) 平成24年11月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 1月10日

カネコ種苗株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 野口 和弘 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 今西 恭子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているカネコ種苗株式会社の平成24年6月1日から平成25年5月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年9月1日から平成24年11月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年6月1日から平成24年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、カネコ種苗株式会社及び連結子会社の平成24年11月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。